



自己啓発を続けています

(財) 地方公務員等ライフプラン協会 別府 新一郎

私

は、友人も少なく、内向的な性格だと思いますが、何とか就職できた生命保険会社での仕事は今も昔も「営業」一筋です。この直接的な理由は単純に、入社当初は就職氷河期であり、求職内容は殆どが営業だったからです。

社会人となり、この仕事と格闘する中で、趣味として幼い頃から憧れていたゴルフに目覚めました。

私は運動センス皆無、転ぶ回数が多く両足の膝小僧は幼い頃から無数の傷で一杯です（悲）。ですから、人並み以上に時間をかけて取り組まないと人並みにプレーはできず、寸暇を惜しんでゴルフに打ち込む時期が続きました。

ある時、社内の宿泊研修・会議の際、宿泊先に「パター」を持ち込む姿を上司に目撃され（!）、「そんなに一生懸命ゴルフやって仕事はどうするんだ、だから仕事ができないんだ、おまえは!」（社内では有名な大先輩の方々から）君がゴルフの好きな別府君か、まあほどほどにな」等の温かい叱咤激励（?）を頂戴した事件がありました。

もともと、入社以来仕事ができる職員でない私ですが、さすがに「これでは、社内における職員としての立場が危うい」という危機感を抱くに至りました。

実は、表題の自己啓発は、すっかり社内におけるこうした私のキャラ……上述のように、すっかり「ゴルフキャラ」が立ってしまった……を何とか変えたい、という忸怩たる思いから始めたものだったのです。つまり実はこれが、自己啓発のために資格取得の勉強を数年前から始めた大きなきっかけとなりました。

また、話は入社当時に戻りますが、今まで経験した仕事の中でも、入社当初の半年研修時の営業は、特に辛い内容でした。更にその中でもいわゆる“飛び込み”訪問研修、すなわち個々に割り振られた住宅地等の地域を一件ずつ訪問して、保険契約を「2ヶ月間で4契約」以上頂戴せよ、という研修内容には心身ともに参ってしまい、どうしても苦手意識を払拭できず「辞めたい」という気持ちに、毎週末に何度も襲われていたのを思い出します。

しかし、研修の最後でした、100名近い新入社員のうち、5名だけにもたらされる、優秀ナントカ賞という賞を会社から頂戴したのです。

それから今迄の会社人生は「鳴かず飛ばず」でしたが、それはさておき（笑）、賞を頂戴した時には「嫌々ながら（?）も継続してやることで、新たな“高み”に登ることができる」と実感することができたのでした。

自己啓発をしていますと、時々「そもそも自分にとって意味あるのかな?」などという考えが頭をもたげます。

しかし、続けることで初めて、自分自身向上できて、そしてまた何かいいことがあるのでは……とその都度思い直しつつ、今後も自己啓発を懲りずに続けることとしたい、と思います。

